

航空機・部品産業に期待高まる

日本の生産額の5割が中部に集中



かれる国際会議に関連して、各国の要人がMRJを視察することになったためだ。

サプライヤー育成へ

サプライヤー育成へ

月下旬、三菱重工の工場では幹部からこんな号令が下つた。『夏の陣』と題する幹部名の文書も現場に配布され、主翼や胴体

実は同社がMRJを公開するまでには、現場でさまざまな努力が重ねられていた。00億円のうち3分の1は国が負担。初号機を領するのもANAホールディングスだ。MRJの

014年初めにかけて最初の国产旅客機。経済産業省が02年に構想を打ち出した小型航空機をベースに開発され、開発費150億円で組み立て立てて、小牧南工場（愛知県豊山町）で結合する。

るMRJの初号機を公開した。機体は機首や中胴などの各構造物ごとに分けて製造中。年末から2機で進められた。確かにMRJは、日本全体の期待を集めるプロジェクトだ。半世紀ぶり

井田隊社もにこやか語る。9月7日、親会社の三菱重工飛島工場（愛知県飛島村）で製造している。しかしようやく部品が揃ってきた。9月の機体公開に向け、作業は急

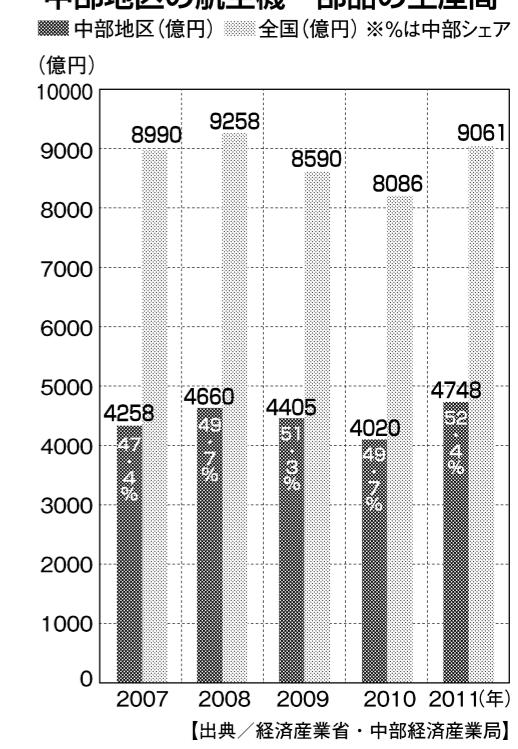
く顧客に届けたい」。M
R-Jを開発する三菱航空
機（名古屋市港区）の川
井昭司社長はこう語った。
「MR-Jは、これまでの二
つのまでの二つの苦戦。
三菱重工が、日本が威信
をかけたプロジェクト。

苦難乗り越え開発本格化

MRJ 初号機公開

中部地域には日本の航空機・部品生産額のうち約5割が集中する。菱重工業や川崎重工業、富士重工業など主要機体メーカーが工場を構え、協力企業群も多数存在。防衛省や米ボーイング向けの機体生産で、国産小型旅客機「三菱リージョナルジェット（MRJ）」の本格化し、自動車産業に続く当地の基幹産業として期待が高まる。

中部地区的航空機・部品の生産高



SUGINO

NECT 2013

内燃機部品の「機械加工から精密洗浄まで」連係対応



例えば、シリンダヘッドなどの製造工程間ロスが節減できます。

#30マシニングセンタ
Self-Center™ H15-LX

- 類まれなる高剛性 … #30ながら#40クラスの剛性
 - 必要十分な加工エリア … 4気筒シリンダヘッドに対応したロングストローク
 - 省エネ & 省スペース … 消費電力・設置面積を低減したエコマシン
 - 高速マシニング加工 … 高剛性ボディと軽量な移動体のコンビネーション

CNCタレット形 水中洗浄機
Jet Clean Center™ U-Jet

- 確実バリ除去 …… CNC制御により深穴内もピンポイントでバリ取り、さらに6種類ノズルと最適パスト制御で高能率・多用途対応
 - 徹底切りくず除去 …… オータージャケット部などの残留切りくずも隙なく除去
 - 効果的キャビテーション …… 最適制御された強力水中衝撃波動で威力洗浄